

事業番号	10 03 06	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	木造公共施設整備事業				担当課	部局	林務部
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	信州の木活用課県産材利用推進室	
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進			E-mail	mokusai@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と創出の信州経済の創出			実施期間	H14 ~	
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 イ 地域資源を活用した自立的な経済構造の構築 （7）地域資源の活用					

1 事業の概要

目指す姿	展示効果やシンボル性が高い公共施設への県産材利用を進め、県民への波及効果を高めるとともに、県産材の需要拡大による地域産業の活性化を図る。 成果目標：公共事業における木材使用量（建築工事） 森林づくりアクションプラン10,265m ³ （H21） → 20,000m ³ （H32）							
現状（予算編成時）	○「木材資源利用合理化方策」（S30年）により、公共建築物においては不燃化が進められてきたが、森林資源の蓄積がなされ、木材を使用することが、森林の適切な整備及び保全、地域経済の活性化、環境貢献等に繋がることから、「公共建築物等における木材の利用に関する法律」（H22年）が施行された。県内における公共建築物の木造率が低く（床面積ベース 23年度 9.2%）、推進が必要である。 ○一定期間内での県産材の確保、調達円滑化、設計等の工夫による低コストな木造公共建築物の整備等を進める必要がある。							
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務） 県民との協働による実施：実施は困難		【左記の説明、根拠法令等】 森林・林業再生基盤づくり交付金実施要綱（国）、木材関係事業補助金交付要綱（県）					
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）							
	○公共事業における木材使用量（建築工事） 18,000m ³ ：H21年度実績とH32目標との差額を均等に引上げ							
	② 事業内容 （単位：千円）							
	項目	実施方法	H28実施内容			H28		
						（補正前）	（2月補正）	（補正後）
	木造公共施設整備	補助金	・県産材を一定以上利用した展示効果やシンボル性の高い公共施設の木造化、木質内装化への支援 交付先：市町村等 1件、補助率1/2以内 ・5施設予定から3施設に変更			144,000	-67,860	76,140
			合計			144,000	-67,860	76,140
事業コスト	区分（単位：千円）				26年度	27年度	28補正後	
	予算額	前年度繰越			1,165,380	241,440	54,000	
		当初予算			733,830	315,779	90,000	
		補正予算			2,440		-67,860	
		合計（A）			1,901,650	557,219	76,140	
	Aの財源	一般財源				3,234		
		県債						
		国庫支出金			28,500	553,985		
		その他			1,631,243	0	76,140	
	決算額（B）			1,659,743	76,244			
概算人件費	職員数（人）			0.50	0.50	0.50		
	概算人件費（C）			4,129	4,129	4,129		
	概算事業費（B（A）+C）			1,663,872	80,373	80,269		
要求からの主な変更点		要求どおり						

成果目標の達成状況						
項目	H26末	H27末	H28			H29目標
			目標	成果	達成状況	
公共事業における木材使用量(m ³)	12,000	14,000	18,000			